



ハートフルなんぶ

2024. 4月号 vol. 294

長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

南部図書館

再開いたしました！

耐震壁の設置やトイレ等の改修工事のため、令和5年11月から休館しておりましたが、令和6年4月より開館いたしました。

休館中、みなさまに大変ご不便をおかけしましたが、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございました。



4月の 新刊案内

『父がしたこと』青山 文平／著 KADOKAWA ≪Fア≫

『この銀盤を君と跳ぶ』綾崎 隼／著 KADOKAWA ≪Fア≫

『小説ゴルフ人間図鑑』江上 剛／著 日刊現代 ≪Fエ≫

『左右田に悪役は似合わない』遠藤 彩見／著 新潮社 ≪Fエ≫

『商い同心』梶 よう子／著 実業之日本社 ≪Fカ≫

『あけくれの少女』佐川 光晴／著 集英社 ≪Fサ≫

『互換性の王子』雫井 脩介／著 水鈴社 ≪Fシ≫

『続きと始まり』柴崎 友香／著 集英社 ≪Fシ≫

『トラディション』鈴木 涼美／著 講談社 ≪Fス≫

『一線の湖』砥上 裕将／著 講談社 ≪Fト≫

『ラストエンペラー』楡 周平／著 KADOKAWA ≪Fニ≫

『タスキ彼方』額賀 滯／著 小学館 ≪Fヌ≫

『幻日/木山の話』沼田 真佑／著 講談社 ≪Fヌ≫

『ブレイク』真山 仁／著 KADOKAWA ≪Fマ≫

『人間標本』湊 かなえ／著 KADOKAWA ≪Fミ≫

『パッキパキ北京』綿矢 りさ／著 集英社 ≪Fフ≫

『だれか、来る』ヨン・フォッセ／著 白水社 ≪949フ≫

『職場がうまくいかないときの心理学100』芦高 勇気／著 有斐閣 ≪336シ≫

『60歳からの新しい睡眠習慣』栗山 健一／著 河出書房新社 ≪498ク≫

『心ときめく和のお菓子』西川 千栄／著 ナツメ社 ≪596ニ≫

『どうしてそうなった!?いきもの名前』丸山 貴史／著 緑書房 ≪460マ≫

『一生使い続けたい!ファスナーの基礎&応用 BOOK』主婦と生活社／編 主婦と生活社 ≪594イ≫

『トースターで作れる!簡単らくらく日々ごはん&おやつ』松尾 美香／著 秀和システム ≪596マ≫

『東京漫才全史』神保 喜利彦／著 筑摩書房 ≪779シ≫



2024年本屋大賞ノミネート作（4/10発表予定）

『黄色い家』川上 未映子／著 <Fカ>

『君が手にするはずだった黄金について』小川 哲／著 <Fオ>

『水車小屋のネネ』津村 記久子／著 <Fツ>

『スピノザの診察室』夏川 草介／著 <Fナ>

『存在のすべてを』塩田 武士／著 <Fシ>

『成瀬は天下を取りに行く』宮島 未奈／著 <Fミ>

『放課後ミステリクラブ1』知念 美希人／著 <Kチ>

『星を編む』凧良 ゆう／著 <Fナ>

『リカバリー・カバヒコ』青山 美智子／著 <Fア>

『レーエンデ国物語』多崎 礼／著 <Fタ>

Essay

「NEW・・・新しい学び」



今年、私が新しく学び始めたこと、それは「仮名」を読むこと。

NHK大河ドラマで、紫式部を主人公にした「光の君へ」が始まっている。主演の吉高由里子さんが小筆を持ち、たおやかに書く姿が美しく、したためた和歌を読みたいと図書館から1冊の本をお借りした。

本の名は、東京の五島美術館理事の名児耶明氏が著した「変体仮名解説と古筆の鑑賞 かなを読む」。仮名の歴史と、最も美しい仮名が書かれていたとされる平安時代の遺品を、懇切丁寧に解説してくれている。

そして、「藤原行成筆」「藤原公任筆」とある書を見ると、ドラマの中で演じられている人物が、確かに1000年前に京都で筆を握り、書をしたためていたことを実感する。

しかし、仮名で書かれたそれらの書を読むのは簡単なことではないと気づくのに、たいして時間はかからなかった。例えば、漢字の「加」をもとにつくられたひらがなの【か】の他に、「可」「閑」「我」「賀」などをもとにして作られた仮名もあったからだ。現在、ひらがなは46文字しかないが、当時は200字ほどの仮名文字が存在していたそうである。更に、文字と文字が連なっている「連綿（れんめん）」がみられるようになり、読みを難しくしている。

それでも、わかりやすく書かれた解説を読み、いくつかの書に触れていくうちに、心に残る文字が出てくる。最近覚えたのは、「本」をもとに作られた仮名【𑖇】音は「ほ」や、「所」をもとにした仮名【𑖈】音は「そ」。繰り返すうちに、一つの言葉を自分の力で読めることもあり、うれしいものである。

かなを書くことにも続けて取り組み、日本のかな文化を楽しんでいきたいと思う。この春、五島美術館で開催される「春の優品展 王朝文化へのあこがれ」を鑑賞することが、今の私の新たな願いである。

寄稿：サマンサL



2024年4月

2024年5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

南部図書館 開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時

は休館日です